

# 地域とともに伸びていく学校のあり方

～子どもの15年間で地域全体で育むために～

【萩市 萩東中学校区】

## 地域の概要

阿武川の流れが松本川・橋本川と分かれた川の外側と三角州の東側半分が萩東中学校区です。農業・水産業・商業・工業・住宅地域を含み、保護者の職業も多様です。また、松陰神社や東光寺等の史跡や萩焼の窯元などを有しています。

校区内には4保育園と1幼稚園、3小学校があります。椿東小、椿西小からは全ての児童が、明倫小からは1/3の児童が萩東中に入学します。

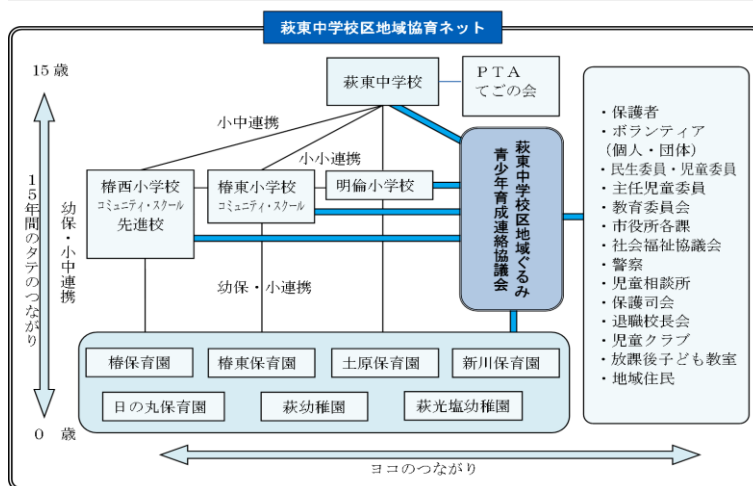
人口	16,256人	
世帯数	7,197世帯	
対象校及び児童生徒数	萩東中学校	478人
	椿東小学校	473人
	椿西小学校	246人
	明倫小学校	685人

※明倫小学校は、約1/3が萩東中学校に入学

## 組織の内容

本中学校区では、既存の組織である「萩東中学校区地域ぐるみ青少年育成連絡協議会」を母体として、「地域協育ネット」を組織しました。そして、「タテのつながり」と「ヨコのつながり」を意識しながら様々な取組を展開しています。「タテのつながり」とは、幼保・小・中の「学校と学校（幼保）のつながり」のことです。「ヨコのつながり」とは「学校と地域のつながり」のことです。

【萩東中学校区地域協育ネット組織図】



今年度は、望ましい生活習慣の確立として「あいさつ」と「朝ごはん」を協議会共通の重点取組事項とし、大学教授による「望ましい生活習慣をつくるための講演会」や木間加工センターの方をお招きしての「簡単朝食レシピの調理実習」など家庭教育の視点からの取組を行いました。

## 特色・重点的な取組

「萩東中学校区地域協育ネット」の特色は、「タテのつながり」にあると言えます。特に、本校と校区内3小学校で、「萩東中学校区小中連携教育推進協議会」を設置し、次のような活動を行っています。

- ・学力向上部会、生徒指導部会、教育相談・特別支援部会の3部会を設置し、情報交換、授業参観、授業の相互乗り入れなどを行いながら、課題を見出し共通した取組を行うなど、課題解決型の小中連携を行っています。
- ・長期休業中に中学校で行っている補充学習会に、小学校の教員が参加し、中学生の学び直しに協力しています。

また、「15年間の子どもの育ちを地域全体で育む」ために、今年度から校区内の保育園長に「萩東中学校区地域ぐるみ青少年育成連絡協議会」の役員とさせていただきました。

## 主な活動の紹介

### 【地域の力を学校教育に生かす取組】

- ・昨年に引き続き、地域ボランティアによる面接練習を行いました。今年は3年生だけでなく、2年生も職場体験学習の一環として、面接練習を行いました。また面接官を務めるボランティアも、昨年度は保護司と民生委員が主なメンバーでしたが、今年は新たに退職校長会の会員も数多く協力してくださいました。
- ・毎月第2火曜日に、コミュニティ・スクール推進委員とPTAとそのOB、教職員の有志で組織された「てごの会」会員による、授業参観及び給食会を実施し、参観者からの評価・意見を教員にフィードバックし、授業改善に役立てています。
- ・長期休業中の補充学習会に、小学校教員の他に、保護者やPTAのOBも学習支援ボランティアとして協力をしてくださいました。



推進委員による授業参観会



補充学習会

### 【地域に発信する取組】

- ・オープンスクールの際に、保護者やコミュニティ・スクール推進委員を対象とする「公開講座」を開催しました。講座数は「数学マジックへの挑戦」などの16講座で、62名の参加がありました。参加された保護者等からも好評で、また開催してほしいという言葉がたくさんいただきました。次回からは地域住民にも参加を呼びかける予定です。



公開講座

### 【児童・園児と生徒の交流】

- ・椿西小学校の行事である「ふれあいバザー」に、萩東中学校吹奏楽部や体験活動部が、演奏や人形劇を披露し毎年協力を行っています。体験活動部は保育園や市の児童館でも人形劇を行いました。
- ・椿東小学校とは昨年に続き、「しいたけ鍋の会」を催し、小・中学生が交流しました。中学生が小学生のときに植菌したしいたけを収穫し、小・中学生が鍋を囲んで勉強や部活動などについて話しながら、会食を楽しみました。



しいたけ鍋の会

## 成果と課題

地域協育ネットの取組を進めるうえで大切と言われる、「Win-Winの関係」を築けたことが成果の一つであると思います。萩東中の面接練習の際、地域の方々に面接官をしていただくことによる、ほどよい緊張感と、教員とは異なる視点からのアドバイスで、生徒がみるみる変容してきました。ボランティアの方々もそうした生徒の変容にかかわれたことに満足して帰って行かれました。また、公開講座の開催は、学校から地域に働きかける新しい取組でした。

今後の課題は、教員・保護者・地域住民が一体となって、企画の段階から協働できる仕組みを構築していくことです。

## 今後の取組

2月の毎週土曜日の朝、部活動前の時間(8:10~9:00)で、「土曜塾」を試験的に開催しました。高校生、保護者、元校長先生などに学習支援ボランティアとして参加していただき、毎回、20名以上の生徒が個別の課題に取り組みました。参加した生徒、学習支援ボランティア双方からとても好評で、今後の定期的な開催に向けて、今回の試行を検証しながら準備を進めています。